

おはようございます！

寒くなって参りましたね。体調はいかがですか？今年も残り一か月ちょいですね。相変わらず次々やって来る仕事をこなしては、次の仕事を作り上げこなす、また作り上げこなす…なんと、活動的な私の人生でしようか(笑) もう60を越えたのでそろそろのんびりしたい…等とたまぁ〜に声を発してみるが、数分後には次の事に心を馳せて動き出す。我ながらこのエネルギーはどこから湧き出てくるんだろうか…などと思議に思うことがあります♡

だって、今年の2月にスキル又胃癌の宣告を受け七時間にも及ぶ大手術をし、胃の四分の三を摘出した私の身体…ところが、たぶん笑…、以前より元気なんですよ(笑) 時々、『私って本当に手術したのかしら？』『あれは異次元の事？』『私、ワーブした？』なんて真剣に思うんです。それほど、口では説明できない感覚なんです。そりゃ〜疲れますよ〜。仕事のスピードも年齢とともに亀さんになってるし、目もしばしばするし、頭の回転も落ちてます…でも、それとは別に回復するエネルギーが上がってるような気がします。自然治癒力アップって言うのでしゅうか？

例えば、短い睡眠時間でもケロッと回復

それぞれのイノチにはそれぞれの気質(傾向性)みたいなものがある、それを個性とみるか欠点とみるかだけじゃないかと思えます。個性として受け入れて生きて行く、よくよくが随分減って楽なんですね。欠点として捉えると、もがきが生じ辛く苦しいんじゃないかと思えます。

いま、発達障害と言言葉の乗ったニューアが各メディアで飛び交っています。この発達障害というくりの是非は置いといて、私は、世間がこれをイノチの傾向性として認知できるようになってくると、彼らの今抱えている二次障害の苦しみや、各種事件も減ってくるのと思っています。

私たちは、他と自分を比較して、自分を追いつめて否定して苦しんでいます。でも、私の知る限りでは、発達障害として生まれたイノチは、基本、自分と人を比べることが無く、ただ、自分を生きています、そして、いつも今ココです。

彼らを、追いつめて、否定してるのは、周りの人たちであって、彼らには言ってることが何故？がいっぱいで、なぜ出来ないといけないのか？なぜ叩かれたり、叱られたりするのかが解らないのだと思います。

それは、彼らのイノチの傾向性が、比べる事、人の目を気にする能力を不要としているからじゃないかと感じています。人がやってるから、とか、人から褒められ

してたり、ちよいとボーしてると元に戻ったりするのですね。そのうち、不食不眠の人になったりして笑。いやいや、不食は無理だ(笑)美味しいもの食べたいという欲は十分に持っているもん(笑)

大敬先生の全国行脚が始まった今年は、スヶジュールの調整できる時は、福岡のメンバーと数名で観光を兼ねて、京都、沖縄、山口、大阪、東京、宮崎、北海道、高知などなど廻りました。そこで、皆様の前でお話をさせて頂くという貴重な体験も出来ましたし、来月の4日は、愛知県にも参上します。普通に酒屋の仕事をして、小さな酒屋ですから私を含めて二人で回っています。だから、抜けたり休んだりできないのですよ。

そして、家族サービスマ時には熱し、孫も居て、父母も健在。その中で毎月の元氣アップ禅の会&全国行脚の事。しあわせ通信の発送にこがっち通信。森の家の守り(笑)、イベント企画、年に2回の小石原陶器祭りでの森の家レストラン、各種お付き合ひ、訪問者、メール発信、返信、フェイスブックや森の家HP、来年少し上げの放課後等デイ…書いてみたら凄かった(笑) 笑・笑

超現実主義の母は、私の事を「骨折り損のくたびれ儲け」と、嘲笑と観察とあきれ顔。仲間の協力を得ながらではありませんが、母と時にはバトルしながら、でも、邪魔はしない♡。まさにこれだけの事が出来る私

る為にといい選択肢はなく、自分がやりたい事、夢中になれることにだけしか興味が無いんだと思えます。だから、それ以外の事を強制的にやらせる事は、彼らのイノチの芽をピンセットで摘み上げて潰しているようなものです。

私たちは、自分のやりたいことだけを、世の中の人ややるようになったら、世界は成り立たないと思っています。

だから、我慢することや、嫌な事もがんばりなさい！と教えられて来ました。

でも…本当にそうでしゅうか？私は、そんな事は無いと思えますよ。

常に、今ココに生きている彼らを見てると、自分の好きな事、やりたい事、熱中でやることを夢中でやっています、とても幸せな顔をしていると思いませんか？

比べることが、裁くことが、恐れが、争いの種のように思いますが、彼らは、人がどうとか、自分が正しいとか、発達障害で生きて行けるだろうかとか考えてはいないので、それを私たちは、無理に考えさせようとしてるのですから…争いと苦しみを教えて居る様なものではないでしゅうか？

彼らの生き方こそが、調和であり、私たちは、彼らを通して、自分を解き放つ悟りの瞬間を学んでいるのだと思えます。

彼らの役割はそこにあって、人類の進化の向かう方向にキャスティングされたイノ

て、不思議な人です。私も私に、興味津々なので、30年間私を観察し続けた重住さんは、いつも次は何をしでかすつもりだろうかと楽しくもあり驚きでもあると言ってくれます。

私の一番の特技は、どこでも寝れて、3秒もあれば深い眠りに入れる事かも知れません。それが回復力を高めているのかも知れないですね。あまり眠れないって事が無いようです。脳天気やね〜って母から冷めた目で見られます(笑)

たま〜に、私が眠れない時って、悲しい時と怒ってる時かな…どっちも興奮状態(笑)でも、何日も続くことは無く、次の日はどうでもよくなってる事が多いですね。これが基本「来る者拒まず、去る者追わず」になっているような気がします。

不安や恐れで眠れないは無いかも…(笑) そして、私は、心の衝動に素直すぎて、「よっしゃやる！」って突っ走る傾向があるので、大敬先生が私を心配して下さって、仲間のみんなに「古賀さんが突っ走りそうになったらとーどーと手綱を引いてね」等と言われた事もあるほどです。これって、私の気質で、世間一般の若さゆえではないようですね…今、気づきました(笑)。そして、時々、孤独を感じて、むなし〜くったり、さみしくなったりもあるんですよ。みなさんは、どんなですか？

千なんだと思っつのです。

私は、学習塾を20年ほどやっていますが、卒業生の中にも社会に出て、出来ない自分を指摘され続け、必死になって自分を変えようとして壊れてしまった子が居ます。また、縁あって出会った子の中にも、苦しんで居る若者が沢山いることを知りました。

発達障害の子の学童保育。放課後等デイは、決して最良の方法とは思っていません。ただ、今は、必要なのかな…って思っています。教育者や医療関係者が禅の会の仲間にも多いのも、縁なのかも知れないですね。

まず、来年の三月に、大阪市の大空小学校のドキュメント「みんなの学校」という映画の上映を計画しております。三月一九日です。同時に実行委員募集中です(笑)

発達障害の子もそうじゃない子も同じ教室で学び、一緒に違いを見つめ考え、地域の協力者も得、不登校ゼロになった学校(笑)

『みんなの学校を千人で見よう！』と言うテーマで、千人の方に見ていただきます。一人も千人も同じだっって学んでいますので、太っ腹で行きますよ(笑)実践実証(笑)

今はとっても順調に見えても乗り越える壁もやって来ると思っています。悟りと迷いがセットで一步ずつして、また、セットで一步。すべての活動は大敬先生から学んだ事、元氣アップ禅の会の積み上げて来たものがベースです。感謝を込めて♡覚悟を決めて♡